

報道機関各位

平成19年10月 2日  
北海道生産性本部

北海道生産性本部は、この度、道内地場企業(団体を含む)を対象として「メンタルヘルスの取り組み」に関する調査を初めて実施した。

本調査は、経済活動の停滞が続く中、道内地場企業の「心の病」の現状とメンタルヘルスに関する取り組みの実態を把握・分析するために実施したものである。

(調査概要)

当本部会員のうち、道内地場企業・団体220組織の人事部長に対し、郵送アンケートを実施。

○実施時期：平成19年7月

○回答企業：61組織(回収率 27.7%、55企業・6団体)

#### 調査結果のポイント

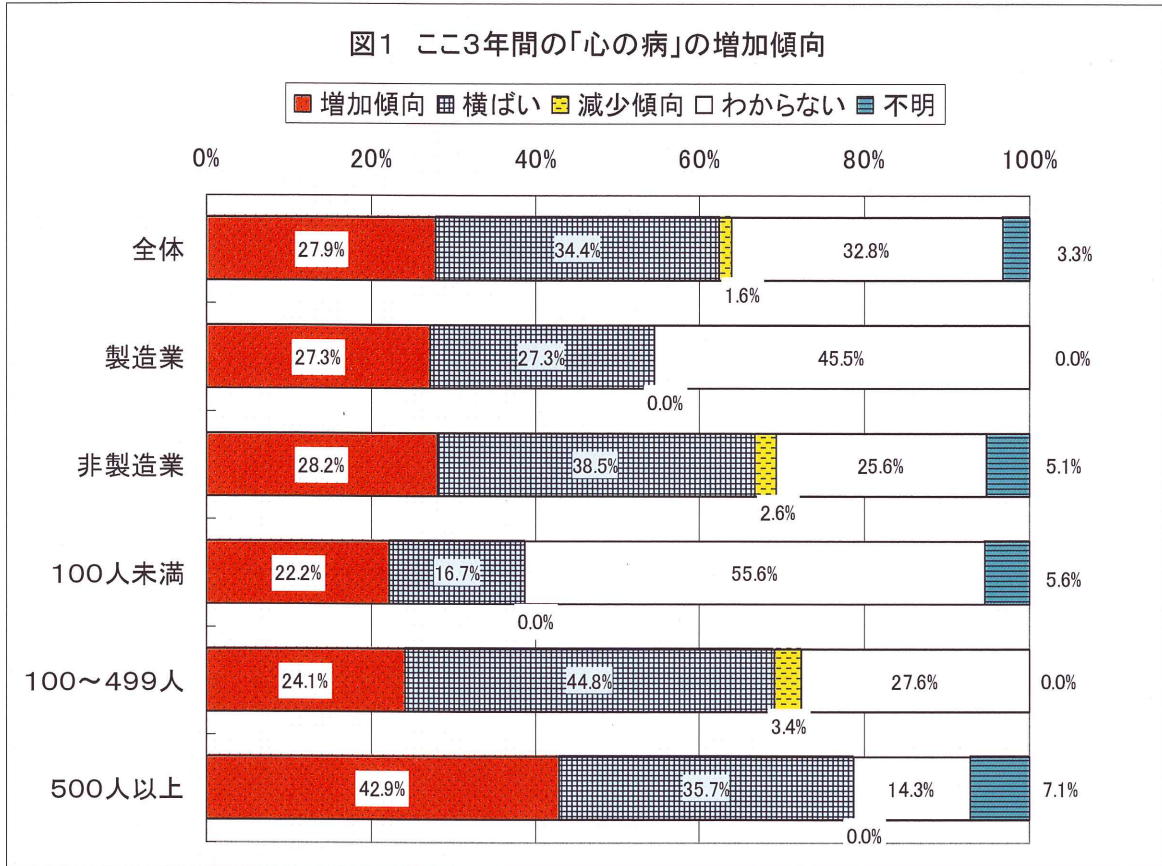
- I. 道内地場企業のうち28%の企業で、この3年間に「心の病」が増加
- II. 仕事と職場の変化が徐々に進行
- III. 個人で仕事をする機会の増加や職場での助け合いが減少している企業ほど「心の病」が増加

[お問合せ先]

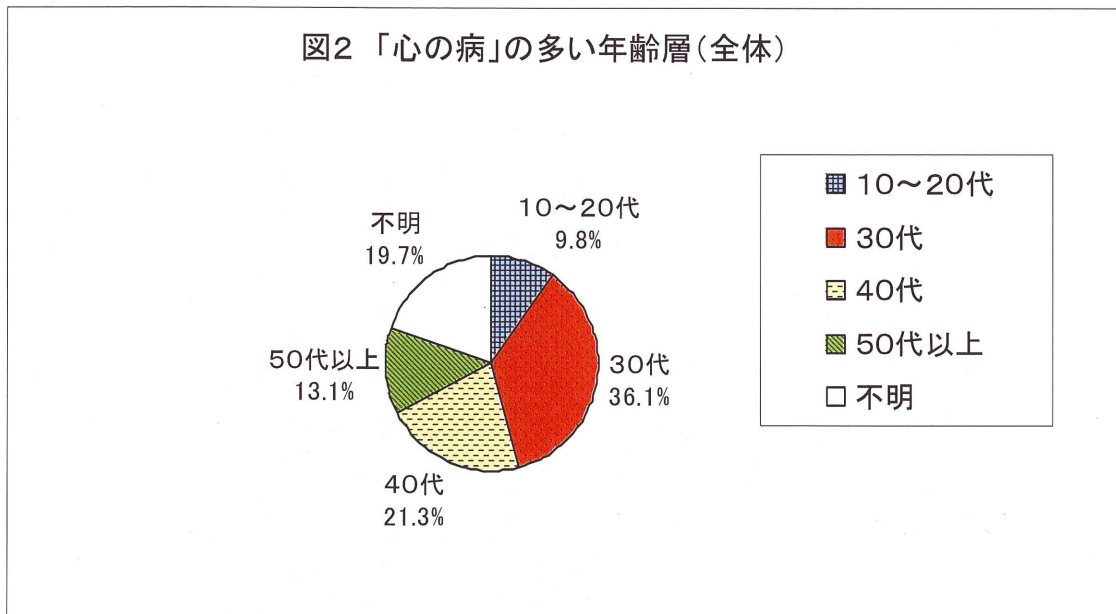
北海道生産性本部 担当 南、澤田 電話：011-241-8591

道内地場企業のうち28%の企業で、この3年間に「心の病」が増加

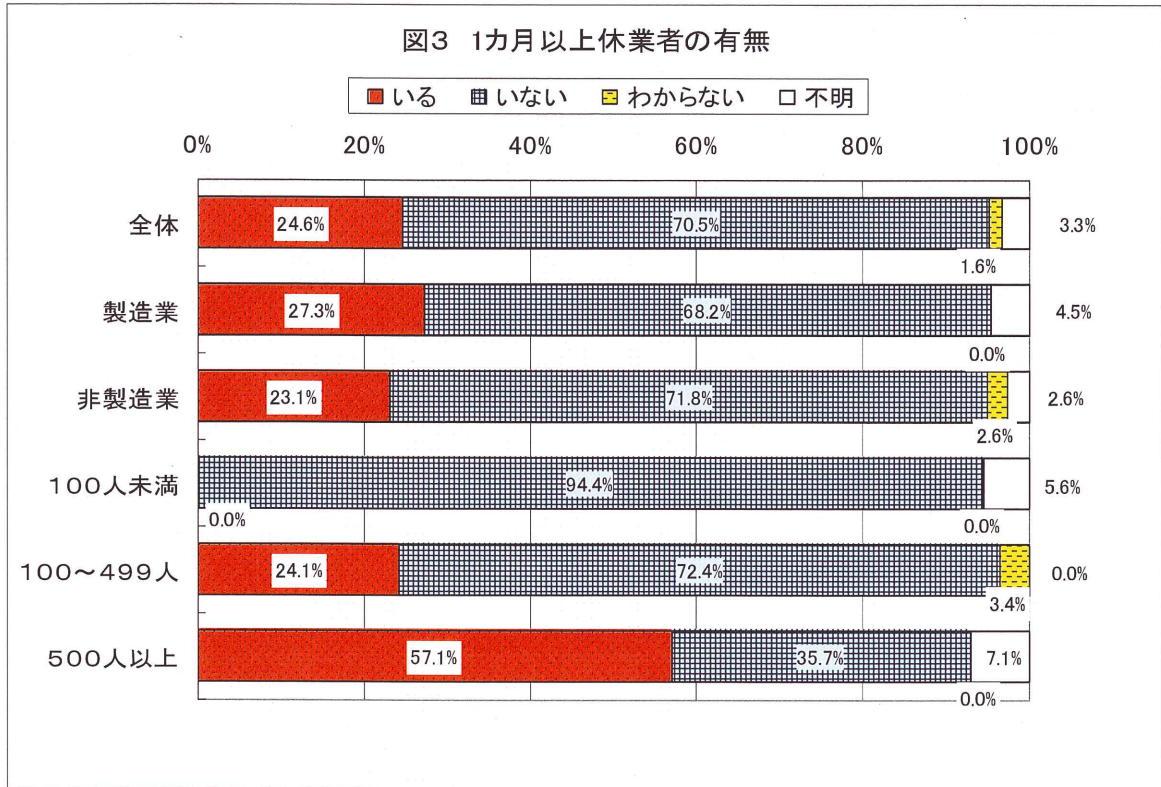
最近3年間の「心の病」の増減傾向を尋ねた結果、全体の27.9%の企業が「増加傾向」と回答している。「増加傾向」の回答率は従業員数規模が大きくなるほど高くなっており、従業員数500人以上の企業で「増加傾向」と回答した割合は42.9%となっている(図1)。



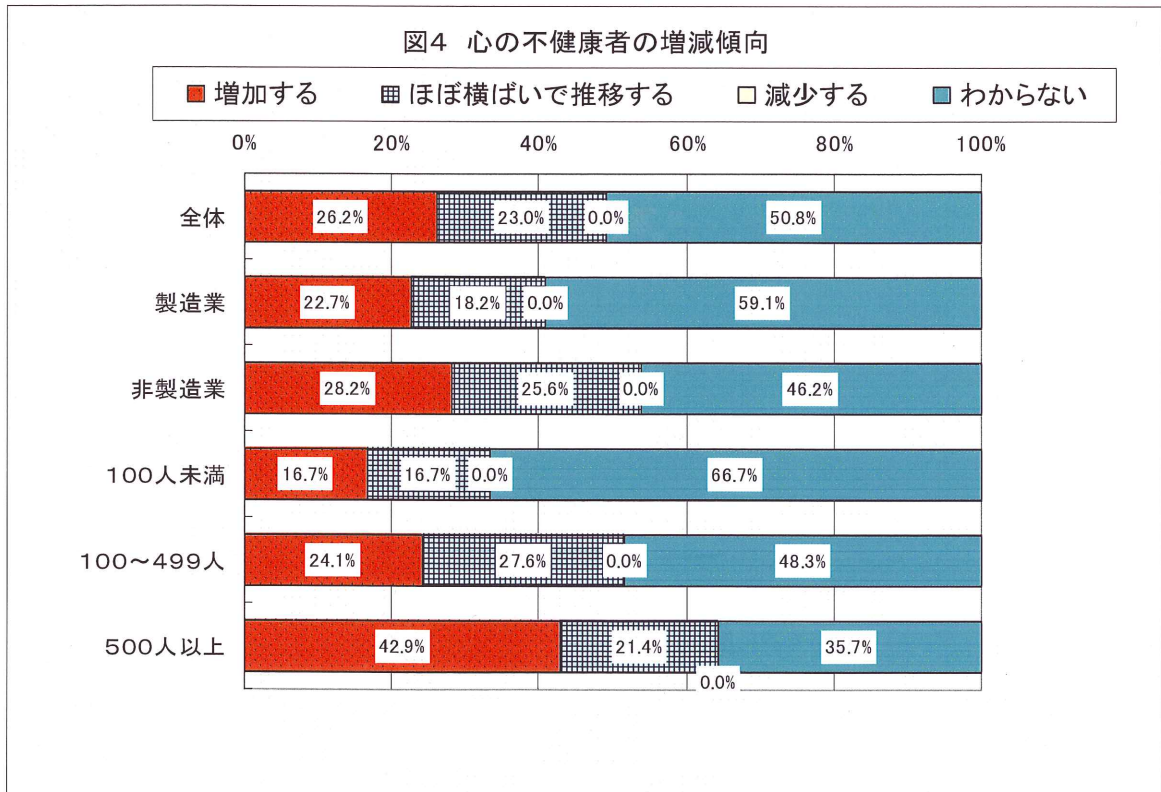
「心の病」がどの年齢層で高いかを尋ねたところ、「30代」(36.1%)の回答率が高く、次いで「40代」(21.3%)が高かった(図2)。



「心の病」のため1ヵ月以上休業している従業員が現在いるかどうかについて尋ねると、「いる」と回答した割合は24.6%であった(図3)。「いる」と回答した企業の割合は従業員数規模が大きい企業ほど高くなり、従業員500人以上の企業では「いる」(57.1%)が「いない」(35.7%)に比べて圧倒的に高かった。

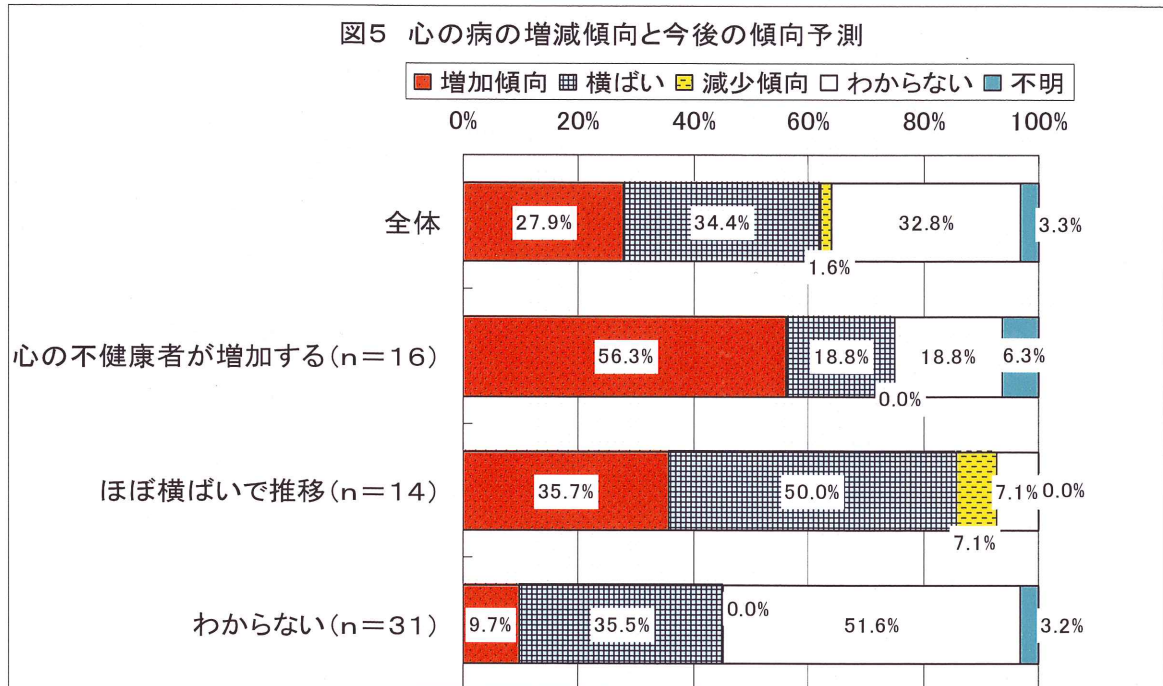


心の不健康者の占める割合が今後どうなっていくかという増減傾向の将来予測について尋ねた質問では、「増加する」と回答した企業が26.2%となった(図4)。





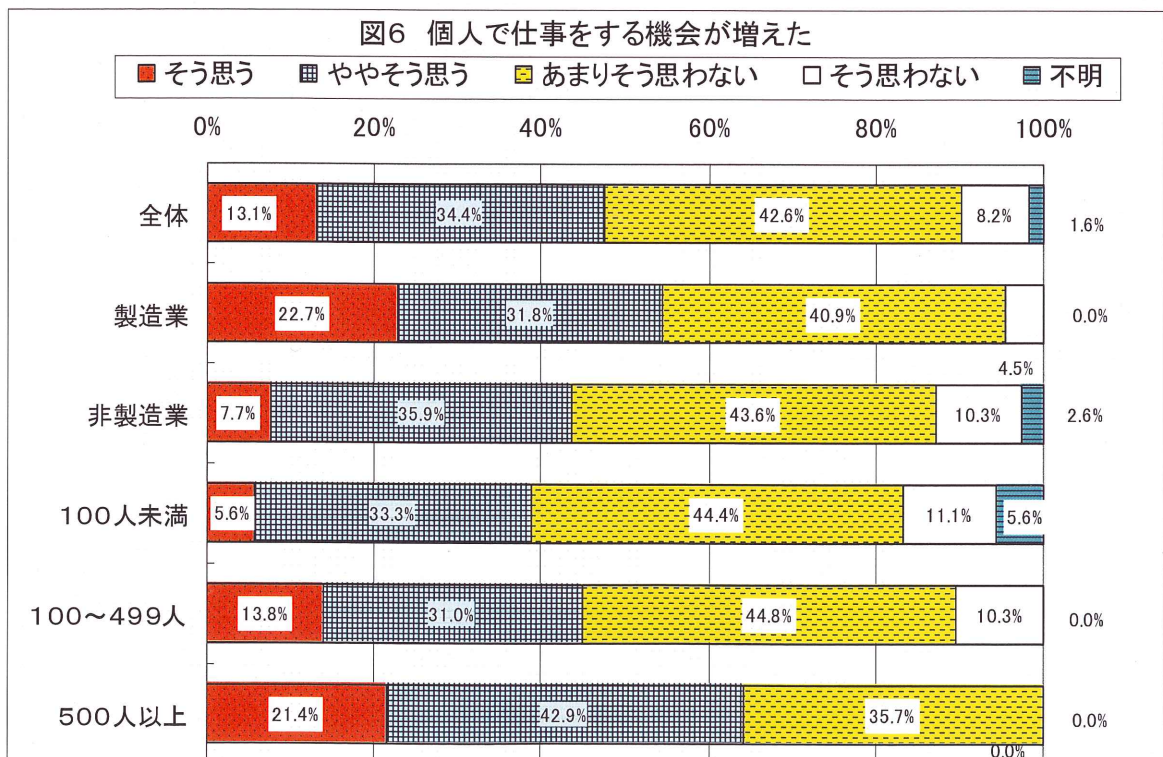
将来予測に関する回答を、最近3年間の「心の病」の増減傾向に関する質問の回答とクロスして集計したところ、増減傾向の将来予測で「増加する」と回答している企業は、過去3年間も「増加傾向にある」(56.3%)とする割合が高くなっている(図5)。



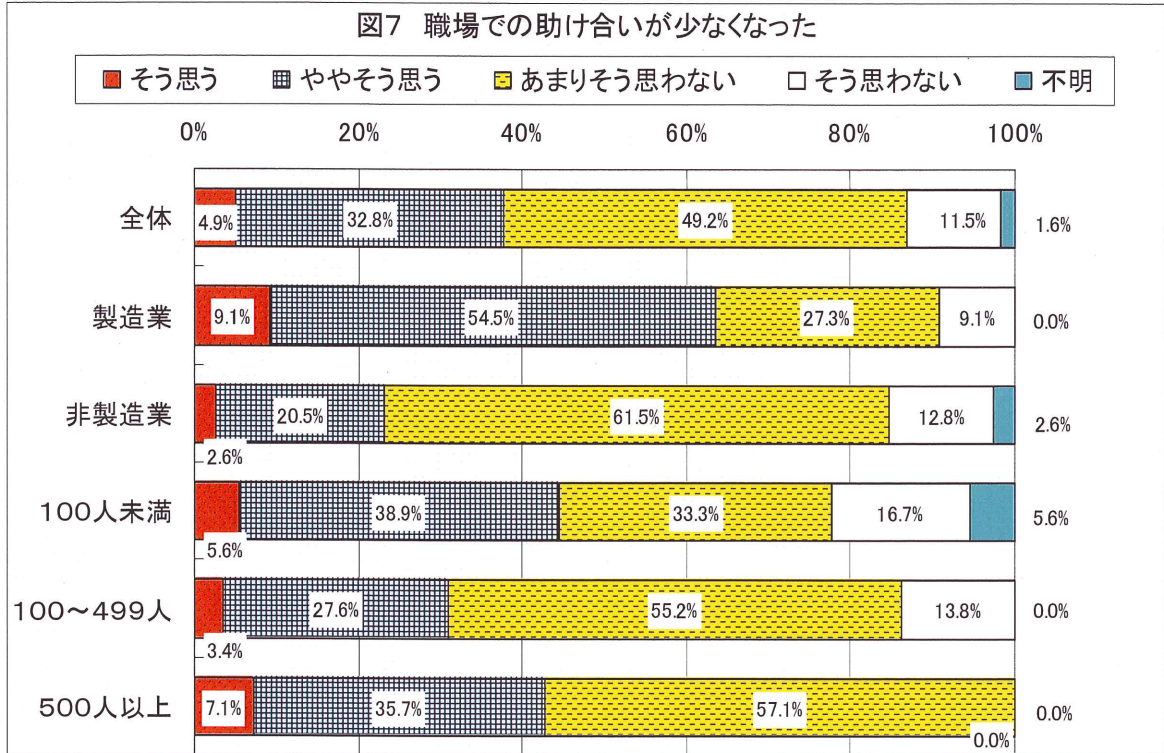
### 仕事と職場の変化が徐々に進行

道内地場企業は、長引く景気停滞などに対応するため経営の効率化が一層進められ、従業員の仕事の与えられ方や職場環境も変化しつつある。

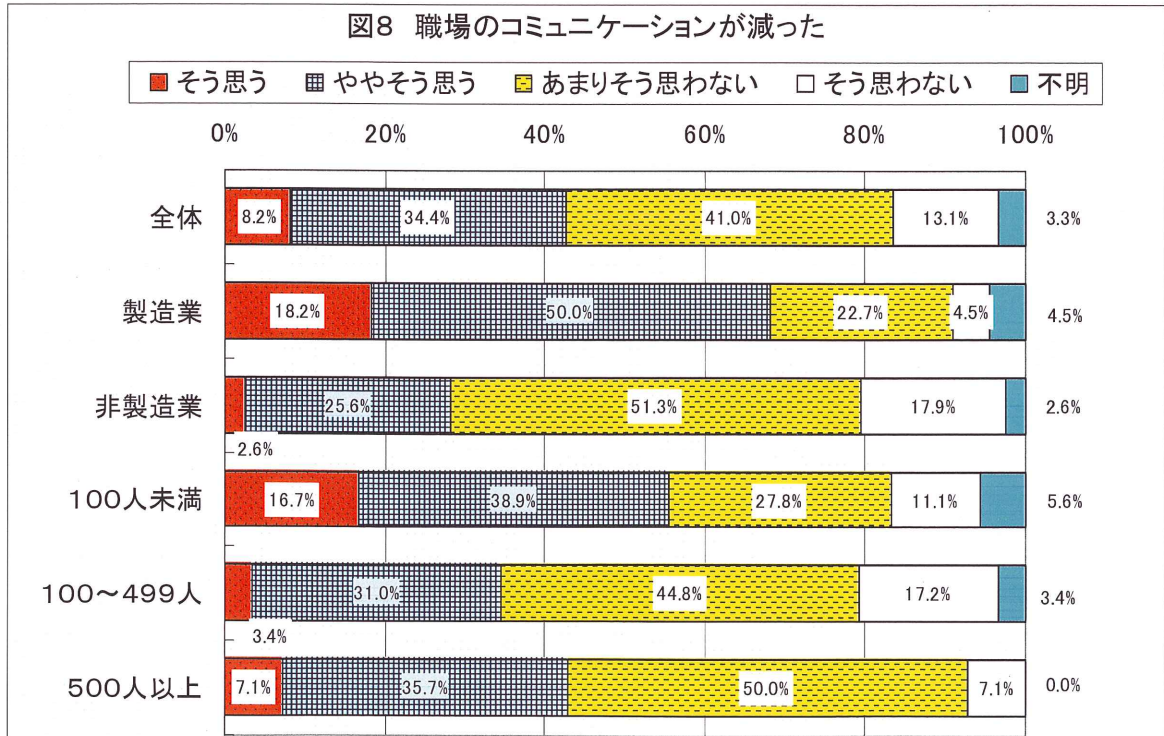
個人で仕事をする機会が増えたかどうかについて、「そう思う」という企業の回答は13.1%で、「ややそう思う」(34.4%)と合わせると47.5%と5割近くになった(図6)。



職場での助け合いが少なくなったかどうかは、「そう思う」という回答は4.9%、「ややそう思う」(32.8%)と合わせると37.7%となり、徐々に職場での助け合いが少なくなっていることが伺える(図7)。



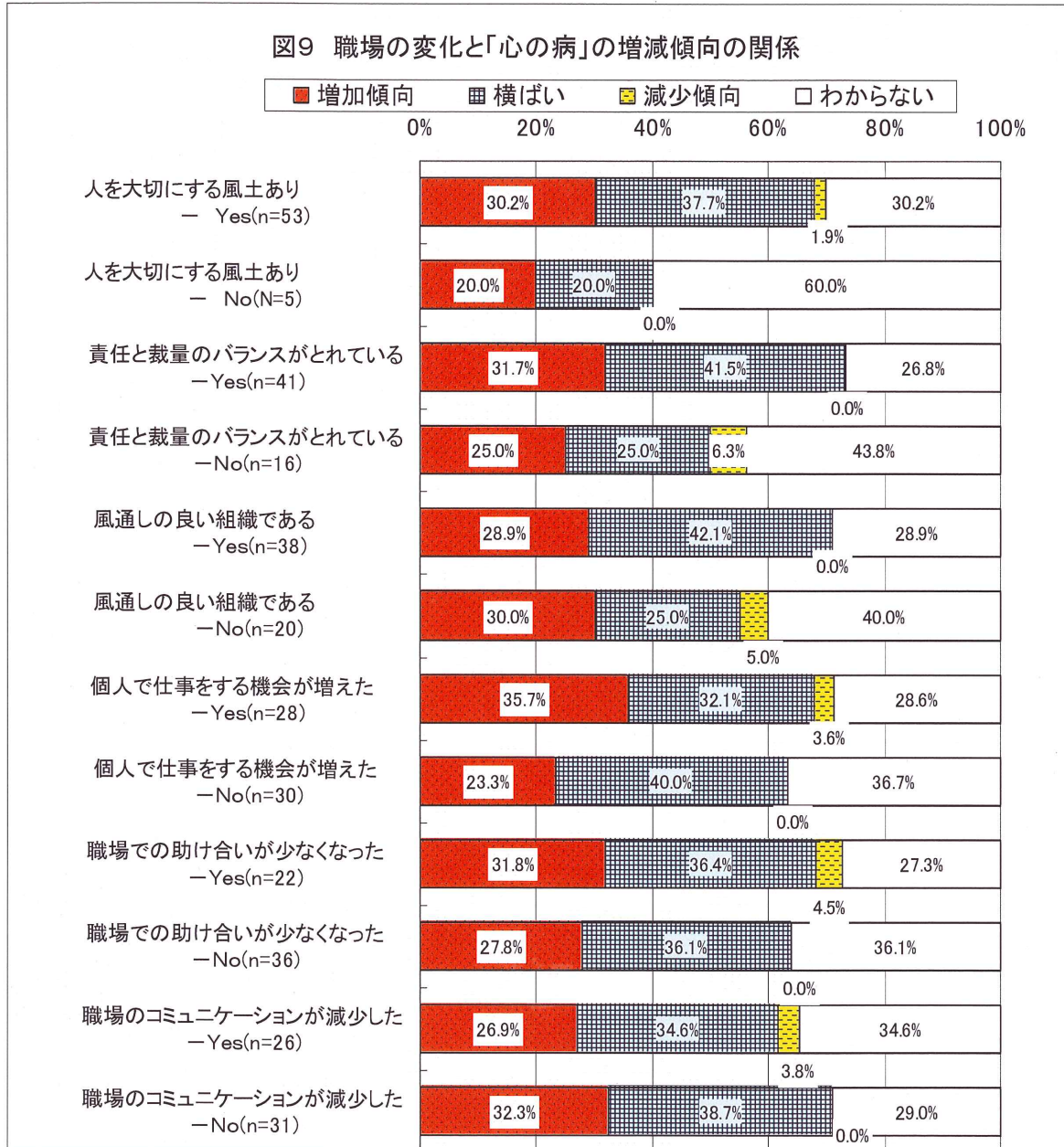
職場のコミュニケーションの機会が減ったかどうかは、「そう思う」が8.2%、「ややそう思う」(34.4%)と合わせると42.6%となり、職場での助け合いの減少と同様の傾向が伺われる(図8)。





個人で仕事をする機会の増加や職場での助け合いが減少している企業ほど「心の病」が増加

職場の変化と最近3年間の「心の病」の増減傾向との関係をクロス集計によって調べた(図9)。



その結果、個人で仕事をする機会が増えた企業において「心の病」が増加した割合が35.7%となったのに対して、個人で仕事をする機会が増えていない企業において「心の病」が増加した割合は23.3%となっており、その差は12.4ポイントとなっている。

また、職場での助け合いが減ったという企業において「心の病」が増加した割合は31.8%、職場での助け合いが減っていないという企業において「心の病」が増加したという割合は27.8%となっており、その差は3.0ポイントとなっている。

これに対して職場でのコミュニケーションの機会が減少したという企業において「心の病」が増加した割合は26.9%となり、職場でのコミュニケーションの機会が減少していないという企業において「心の病」が増加したという割合(32.3%)を5.4ポイント下まわった。

これらから、個人で仕事をする機会の増加や職場で助け合う機会の減少など仕事を進める上での孤立的状況が「心の病」の増加につながっている様子が伺える。またコミュニケーションの機会の減少自体は必ずしも「心の病」の増加に結びついていないとは言えないが、コミュニケーションの機会の減少が他の職場や仕事の変化要素と複合的に結びつき、「心の病」の増加につながっていくことが懸念される。